

## 令和3年度第2回豊田市議員報酬等及び特別職の給料に関する審議会会議録

●日 時 令和3年11月1日(月) 午後2時30分～3時45分

●場 所 オンライン開催

●出席者 ・出席委員8人

桑原 英明 (学識経験者 中京大学 教授) ※会長  
田端 稔 (豊田商工会議所 副会頭) ※副会長  
太田 芳彦 (豊田市ボランティア連絡協議会 監事)  
大橋 一之 (連合愛知豊田地域協議会 代表)  
古賀 康二郎 (市民公募)  
中根 金良 (あいち豊田農業協同組合 代表理事専務)  
林 哲夫 (豊田市区長会 理事)  
和形 寿賀子 (豊田市ファミリー・サービス・クラブ 会計)

・事務局

藤本 聡 (総務部長)  
村上 光彦 (総務部副部長)  
近藤 雅雄 (議会事務局局長)  
近藤 啓史 (議会事務局担当長)  
石川 貴祥 (議会事務局担当長)  
杉浦 智文 (人事課長)  
武藤 克也 (人事課副主幹)  
原 一仁 (人事課担当長)

● 傍聴人 0人

◎議事

1 前回審議会の会議録確認

(会 長)

前回審議会の会議録について、事前に事務局から届いていると思うが、内容の訂正や確認などあれば意見をいただきたい。

—— 委員より訂正なし ——

(会 長)

訂正なしということで会議録は公開させていただく。出席した委員氏名も公開となるので了解いただきたい。

2 市議会議員の報酬改定について

(会 長)

事務局より資料の説明をしてもらいたい。

(事務局)

**(1) 近年の改定状況について**

議員報酬の改定について、議長は、平成31年度に6,000円の引上げ、副議長は、平成31年度に4,000円の引上げ、議員は、平成27年度に8,000円、平成29年度に8,000円、平成31年度に5,000円の引上げを実施

**(2) 中核市との比較**

中核市との比較では、62市ある中核市の中で、議長は、報酬月額で13位、年収額で16位、副議長は、報酬月額で15位、年収額で19位、議員は報酬月額で14位、年収額で17位であり、いずれも上位に位置している。

**(3) 賞与**

令和元年度は0.05月引上げで3.40月、令和2年度は0.05月引き下げで3.35月、令和3年度は0.10月引下げで3.25月となっている。但し、令和3年度については人事院勧告通り改定された場合の想定。

#### (4) 議員活動

定例会・臨時会はじめ本会議・委員会への出席がある。本会議へ上程される条例・予算・契約等の案件の議決のほか、市長の行う施策等に対し確認、提言を含めてその考えを問う一般質問等を行っている。また、それらの協議・調整の場として各種法定会議、法定外会議にその立場に応じて出席している。

市政の報告と意見交換を行う市議会報告会、市政の重要施策や市民の身近なテーマについて市民と共に考える市民シンポジウムのほか、各種研修会など議会主催行事への出席をしている。

交通安全などの啓発活動、おいでんまつり、産業フェスタなどのイベント、市制記念式典、年末特別警戒巡視など市執行部が主催する行事、イベントなどへ市民の代表としての出席などがある。

公務を補完する活動として、議案の精読、一般質問の事前調べ・作成、会派活動、議員個人による調査研究活動・視察・研修、要請・陳情活動、会派・個人による議会報告会などの広報活動など、本会議・委員会に付随する活動を行っている。

地元等の要望取り次ぎ・働きかけ、学校行事、地域会議、祭り等への来賓出席など市民からの各種相談・各種団体行事への出席をしている。

市執行部からの施策・計画事項等説明、情報提供等を随時受け付けている。冠婚葬祭、後援会活動、選挙活動、政党活動への出席もある。

公務、公務を補完する政務、政治活動それぞれの線引きは難しいが、土日・祝日・早朝・深夜等関係なく、24時間365日様々な活動をされている。

#### (会 長)

事務局の説明に対し意見、コメントはあるか。

事務局の説明を踏まえて、議員報酬の改定について審議をする。

#### (委 員)

資料によれば、議員報酬は随時改定しているようであるが、改定の周期があるのか。その都度判断しているのか。

#### (事務局)

2年に1度報酬審議会を開催してきた。その都度その状況を説明させていただき、委員の皆様にご判断いただいている。

(委員)

コロナ禍で中小零細企業や商店の方は厳しい状況であり、また賃金も上がらないという状況を鑑みれば、議員報酬を上げるのは難しいのではないか。現状の社会情勢では据置きが妥当である。

(委員)

企業の従業員の方でも賃金が上がる人は少ないと思う。引上げは今の情勢では難しい。下げるとするのも考えにくい。この現状では据置きが妥当である。

(委員)

コロナ禍の経済情勢では上げるというのは難しい。一方、他市と比較した特別職の収入状況からすれば、もう少し上げて良いと考えるが、このタイミングでは難しい。今回については据置きが妥当である。

(委員)

据置きについて異論はない。働き方改革や生産性向上の取組について議員や一般職がそれを前向きにとらえているような活動はあるか。

拘束時間等が短くなり、より良いパフォーマンスになるような話が伺えると嬉しい。

(会長)

議員活動は非常に多面的である。一般行政職や民間企業と異なるところがある。議員や特別職の方も率先して範を示していただけるとありがたい。議員活動については、休日に様々なイベントに出席されている。それぞれの判断によるところが大きいと考える。

(委員)

中核市との比較の中では、特別職に比べれば年収が低いが、平均は上回っており、社会情勢を鑑みれば据置きが妥当であると考えている。

(委員)

豊田市は予算も多く、面積も広いため、他市に比べて議員報酬が高くて良いと考えるが、コロナ禍である現状では据置きが妥当である。

(委 員)

議員の活動を間近で感じることは少ないが、事務局の説明により、様々なお仕事があり多忙であることは実感した。一方、コロナ禍で苦しい思いをされている方が大勢いる中では、据置きが妥当である。

(委 員)

特別職や議員については非常に責任のある大変な仕事であると認識している。本心では引き上げるべきであると考えているが、コロナ禍である社会情勢や世論を考慮すると、据置きが妥当である。

(会 長)

追加の意見等はあるか。

－ 特になし －

(会 長)

議員の報酬額について方針を決めたい。方針については、「報酬額の引上げ改定を行う」「報酬額の引下げ改定を行う」「報酬額を据え置く」のいずれか一つであろうかと思う。

各委員の挙手をいただくが、3つの選択肢のどれを選択するか考える時間を1分ほどとるため、各委員は考えをまとめてほしい。

－ 1分経過 －

(会 長)

「報酬額の引上げ改定を行う」ことが妥当であると考えてる方は挙手をお願いします。

－ 挙手 0 名 －

(会 長)

「報酬額の引下げ改定を行う」ことが妥当であると考えてる方は挙手をお願いします。

－ 挙手 0 名 －

(会 長)

「報酬額を据え置く」ことが妥当であると考えの方は挙手をお願いします。

－挙手 7 名－

(会 長)

「報酬額の引上げ改定を行う」が 0 名、「報酬額の引下げ改定を行う」が 0 名、「報酬額を据え置く」が 7 名であるため、議員報酬については「据え置く」と決めさせていただく。

多忙な議員活動、特別職との比較から、議員報酬については様々な考え方もあるが、コロナ禍の厳しい経済状況から、据え置くという結論とする。

### 3 市議会議員の政務活動費について

(会 長)

引き続き政務活動費について議論する。事務局より資料の説明をしてもらいたい。

(事務局)

#### (1) 政務活動費とは

議員の政策形成能力の向上及び市議会の審議機能の強化を図るため、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部を補助するものである。

#### (2) 政務活動費の額

議員 1 人あたり 60 万円を支給している。

平成 13 年 4 月時点では 38 万円であったが、平成 24 年 9 月に使途基準が変更となったことに伴い、平成 25 年 4 月に 53 万円に引き上げ、平成 30 年 4 月に 60 万円に引き上げられている。

#### (3) 執行状況

令和元年度の執行率は 92.8%

#### (4) 中核市における比較

中核市の平均は 1,059,129 円、49 位となっている。

## (5) 使途基準

条例により、「研修費」「調査研究費」「資料作成費」「資料購入費」「広報聴費」「要請・陳情活動費」「会議費」「事務費」「その他経費」が使途基準として定められている。

豊田市では、「人件費」「事務所開設費」を使途の対象としていない。

## (6) その他

豊田市では庁舎内に議員執務スペースを用意している。また、事務局の職員が政務活動を補助している。

政務活動費は、議員が自ら厳格な使途基準を設けて、疑いがあるような、不明瞭な支出とならないよう運用している。他市と比較して金額が低いのは、「人件費」「事務所開設費」「通信費」「備品費」など不明瞭となりやすい支出を使途基準としていないのが主な要因であると考えられる。

収支報告については全ての領収書の添付を義務付けており、公表している。

(会 長)

事務局の説明に対して、質問等はあるか。

(委 員)

岡崎市は30万円と豊田市の半額となっているが、これはどういった理由からか。

(事務局)

岡崎市は人件費も使途基準として含めてはいるが、県内の自治体は厳格に運用しており、政務活動費も少ない傾向にある。岡崎市もかねてよりこの金額で運用している。

(委 員)

令和元年度の執行率が92.8%。令和2年度は活動にも制限がかかり執行率も下がったと思うが、議員から要望等はあるか。

(事務局)

政務活動費の支出の内、調査研究費・研修費が8割ほどを占めているが、令和2年度はコロナの影響で、視察や研修の出席や受け入れを自粛していた。こうしたことから、政務活動費を返還してコロナ対策に活用していた

だこうという議論もあったが、寄附にあたることから法的に実現ができないため、不用額として返還していただいた。

(委員)

令和元年から60万円に引き上げたということであるが、議員から政務活動費が足りない等という意見はあったか。

(事務局)

前回の審議会で、研修や視察活動をしっかりやっていただきたいということ、調査研究にかかるガソリン代を用途基準に加えたということから、引上げの答申をいただいた。

議員はこれに基づいて活動しているが、特に増額要望等の声は届いていない。

(委員)

前回の審議会では海外も含めて視察活動を拡充するために引き上げたという経緯があるが、現状はコロナ禍であり議員からの要望も聞こえてこないなので、今回については据置きで良いのではないか。

(委員)

今期に関しては据置きで良いのではないか。今後、政務活動が増えるのであれば、政務活動費の増額も考えるべきではある。

(委員)

政務活動は行動が伴うので、コロナ禍では増額するのは難しい。今後、海外も含めて活動してもらいたいが、調査・研修についてもWEBを活用したものも出てくる可能性がある。それらを見極めたうえでの議論とはなるだろうが、今回についてはいえば、据置きが妥当である。

(委員)

豊田市が他市に比べて厳格な運用をしているという説明を伺って、安心した。議員から政務活動費が不足しているという声がないのであれば据置きが妥当であると考えている。



(委員)

令和元年に引き上げられて、2年経過したが、議員から意見も出ておらず、昨年度の執行率も低かったということであるため、据置きが良いと考える。

(委員)

政務活動に対する実費ということで、市で大きな事業があるなど、調査が必要となる事情があれば、増額の議論が必要となるが、この状況下の中でそうした事業ができる時期ではない。現状維持が妥当であると考えている。今後必要があれば、その時に増額を検討するのがよいと考える。

(委員)

支出しなかった政務活動費は、次年度に引き継ぐのか。

(事務局)

不用額として市の予算に返還する。翌年度に繰越しにはならない。

(委員)

政務活動費も議員が有効に活用していただければと思う。

(委員)

現状の金額は一見少ないように見えるが、他市と比べて議会事務局が手厚いフォローをしていることを鑑みれば、据置きが妥当である。

(会長)

追加の意見等はあるか。

－ 特になし －

(会長)

政務活動費について方針を決めたい。方針については、「政務活動費の引上げ改定を行う」「政務活動費の引下げ改定を行う」「政務活動費を据え置く」のいずれか一つであろうかと思う。

各委員の挙手をいただくが、3つの選択肢のどれを選択するか考える時間を1分ほどとるため、各委員は考えをまとめてほしい。

－ 1分経過－

(会 長)

「政務活動費の引上げ改定を行う」ことが妥当であると考える方は挙手をお願いします。

－ 挙手 0名－

(会 長)

「政務活動費の引下げ改定を行う」ことが妥当であると考える方は挙手をお願いします。

－ 挙手 0名－

(会 長)

「政務活動費を据え置く」ことが妥当であると考える方は挙手をお願いします。

－ 挙手 7名－

(会 長)

「政務活動費の引上げ改定を行う」が0名、「政務活動費の引下げ改定を行う」が0名、「政務活動費を据え置く」が7名であるため、政務活動費については「据え置く」と決めさせていただきます。

(会 長)

再度確認であるが、当審議会の意見として、政務活動費は据置きが妥当であると決まった。

豊田市では政務活動費の運用を厳格にしており、議員からの要望もない。また、より積極的に政務活動をしていただきたいとの思いはあるが、昨今のコロナの状況を考えると、据置きが妥当である。

本日の審議はここまでとさせていただきます。

(会 長)

以上をもって、審議事項は全て方針が決まった。再度方針の確認を行う。市長等の特別職の給料、議員の報酬、政務活動費のいずれも据え

置くことが望ましい。以上を審議会の意見としますが、よろしいか。

— 委員より意見なし —

(会 長)

これで審議会を終了する。ご協力ありがとうございました。

【審議終了】